

六甲山牧場

「はるまきば」へ行こう!

六甲山も徐々に緑に色づき始め、暖かな日差しが気持ち良い季節がやってきた。六甲山牧場では春の風物詩「はるまきば2023」が始まった。

期間中の特別イベントとして毎年人気の「羊の毛刈りショー」を開催。飼育員たちが羊を座らせ、バリカンで次々と毛を刈っていく様子は一見の価値あり!

「子羊のお披露目」では、今年生まれたかわいい子羊たちがお出迎え。4月2日は、馬蹄を輪投げゲームのように投げて楽しむ「蹄鉄投げ大会」を開催する(雨天中止)。

羊たちの毛からマスコットをつくるウールクラフト体験も大人気。春の六甲山牧場へ、ぜひ行ってみよう♪ ☎078・891・0280



今年生まれました。ヨロシクね

六甲山アスレチックパークGREENIA

水上施設をパワーアップ

市街地からのアクセスも抜群な「六甲山アスレチックパークGREENIA」は3年目のシーズンオープンを迎えた。今季の見どころは、大人気エリアである水上アスレチック「wonder amembo(ワンダーアメンボ)」のパワーアップだ。

動画クリエイター・フィッシャーズ監修のもと、新たに四つのアスレチックが追加された。うち三つは難易度が最大の「激ムズ」に設定されており、スリル満点のスポットになること間違いなし。

四つ目はエリア初の「対戦形式」となる、手押し相撲から着想を得た「手押しどすこいバトル」。1対1で水上に設置された円形フィールドに立ち、手押し相撲で勝負ができるようになっている。他にもスタンプラリーなどのイベントも実施中。最新情報は公式HPでチェックを。営業期間は11月19日まで。☎078・891・0366



スリル満点のアスレチックへGo!

653cafe

おなかも心も満足

六甲ケーブル「六甲山上駅」からすぐの「653(ロココウサン)cafe」。芝生や森でピクニックをしたり、音楽に浸る野外ステージになったり。広大な庭の楽しみ方は多彩で自由だ。

営業日や営業時間は天候により変わるので、ウェブサイトや電話で確認を。土・日・祝日は前日まで予約を受け付け、平日は当日でも席の予約ができる。☎078・891・0218



緑に囲まれたカフェで自由なひとときを

デザートメニューに新しく仲間入りした「ふわもちドーナツ」は、ラズベリーチョコのコーティングにビスターチオがトッピングされ食べ応え充分。いちごを使った季節のデザートも人気で、春の日差しを浴びながら、おなかも心も満たせる。

テラス席やソファ席以外にも、庭の中で自分だけの特別席を見つけるのも楽しい。

六甲山大学 ROKKO-SAN DAIGAKU



新しい発車メロディーのお披露目に参加した松本隆さん

「春色のケーブル」で山へ 「赤いスイートピー」発車メロディーに

先日、山麓と摩耶山上を結ぶ「まよビューライン」が約1ヵ月半の冬眠(年次点検)から覚めて運行を再開。摩耶山山頂まで約1.5km。25日には摩耶山天正寺の春の風物詩で、春山開きの行事でもある「摩耶詣」も催行され、これらが春本番となる。

ところで、この春、摩耶ケーブルの発車メロディーが変わった。1980年代の音楽シーンを記憶している世代には、とても懐かしい松田聖子さんのヒット曲「赤いスイートピー」をアレンジしたもの。歌謡曲にさほど興味なかった筆者ですら、思わず口ずさんでしまうほど、一世を風靡した曲だ。

摩耶山で実施されている多様な文化活動のひとつ、朗読イベント「本読みの時間」で、多くの名曲を生み出した希代の作詞家、松本隆さんの作品を取り上げたことがある。



神戸から大阪まで一望できる御星台の展望広場

3月18日、午前10時の始発便に合わせて新しい発車メロディーのお披露目式が行われた。松本さんにスイッチを押してもらった。新しい発車メロディーが駅舎に流れた。

ところで、歌は知っているも赤いスイートピーを見たことがあってもどろどろしているのだから、スイートピーといえば、白かピンク、淡いクリーム色のイメージ。昨春秋、このプロジェクトでは、松本さんにも参加し

松本さんは生まれ育った東京を離れ、現在は関西に拠点を移している。神戸でもさまざまな活動をされていることもあり、摩耶山再生の会では、ご本人を摩耶山にお招きしてのトークイベントなども実施してきた。その縁から、昨春秋に「摩耶ケーブル赤いスイートピープロジェクト」が発足。この春に向けて準備が進められてきた。



摩耶山上で見頃を迎えている「摩耶紅梅」

折しも、山上では「摩耶紅梅」が見頃を迎えている。やや遅咲きの八重咲きの梅で、濃いピンクが華やか。豊臣秀吉が愛した、自ら「摩耶紅梅」と名付けたこの逸話も残る品種だ。明るく黄色が愛らしいミツバなど、咲き始めている。春色の摩耶山へ、ケーブルに乗って出かけてみませんか。

でもらって赤いスイートピーの種まきを実施。現在、構内に置かれたプランターで生育しており、4月中旬頃に開花の見込みだとか。「まよビューライン」サポーターの会の会員証(MaSACa)にも赤いスイートピーがあしらわれているが、本物の開花がとても楽しみだ。

「まよビューライン」サポーターの会の会員証(MaSACa)にも赤いスイートピーがあしらわれているが、本物の開花がとても楽しみだ。

根岸真理が案内 山の四季便り

ねがし・まり アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう!」など。

◆シダレミュージアム

来年1月8日まで10~21時(11月24日~1月8日は短縮営業。平日10~18時、休日10~20時)、自然体感展望台・六甲枝垂れ(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」)。展望台・六甲枝垂れを舞台に、アーティスト11組による作品を展示する。トートバッグ作りや丸シールを貼って絵を完成させるワークショップなどがある。中学生以上1000円、4歳~小学生500円。六甲ガーデンテラス ☎078・894・2281

◆ヴォーリス六甲山荘

公開 4月1日~11月19日までの土日・祝日11~16時(入館は15時半まで)、ヴォーリス六甲山荘(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」徒歩約15分)。W・M・ヴォーリスが1934年に設計・建築した別荘



＝写真＝を見学。六甲山の厳しい気候に対処した工夫や夏の別荘らしい演出などが見られる建物について、ボランティアガイドが解説。軽食・喫茶の提供もあり、当時の別荘ライフに触れることができる。500円、中学~大学生300円、小学生以下無料。休館日あり。アメニティ2000協会 ☎0798・65・4303

◆タムシバの道を歩く

4月8日9時半、阪急バス81系統奥池集会所前バス停集合。奥池一観音山一ごろごろ岳一奥池。観音山への道で、春を告げるタムシバ＝写真＝を木の形

だけでなく、清涼感のある花の香りも楽しみながら歩く。講師は六甲山自然案内人の会メンバー。弁当、飲料水、雨具などを持参。参加費300円(保険料含む)。予約不要。当日の朝、気象警報が出た場合は中止。六甲山自然案内人の会・竹上さん ☎080・1439・7030(19~21時)



◆4月のミントサロン

「神戸・六甲山の足元のたからもの~日本人の生活を支えてきた和ハーブ~」 4月21日19~20時、ミント神戸18階のミントテラス(JR「三ノ宮」駅)。



日本の風土で育ち、日本で古来から用いられてきた植物「和ハーブ」の効能や楽しみ方について医学博士の古谷暢基さんが「写真」が話す。無料。先着25人。要予約。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール(mintsalon@kobe-np.co.jp)またはファクス(078・360・5514)で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係 ☎078・362・2983

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲山大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業



(順不同)